

適用規格								
定 格	使用温度範囲	-40℃～ +85℃ (注1) 		保存温度範囲		-10℃～ +60℃ (注2)		
	使用湿度範囲	40 %～ 80 %		保存湿度範囲		40 %～70 % (注2)		
	電 圧	AC 250V		UL・CSA	電圧	AC 30V		
	電 流	AWG22～26 : 2A AWG28 : 1A AWG30 : 0.5A		定格	電流	AWG22 : 2A AWG24～28 : 1A AWG30 : 0.5A		
性 能								
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT	AT	
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○	○	
	表示	目視にて確認する。				○	○	
電氣的性能	接触抵抗	100 mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。		30 mΩ 以下		○	—	
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。		1000 MΩ 以上		○	—	
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	—	
機械的性能	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。		①接触抵抗：30 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—	
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—	
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。		①接触抵抗：30mΩ 以下 ②絶縁抵抗：500 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—	
	温度サイクル	温度 -55 → +5～+35 → +85 → +5～+35℃ 時間 30 → 5～ 15 → 30 → 5～ 15分 を 5 サイクル 試験する。		①接触抵抗：30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗：1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—	
	半田耐熱性	【 リフロー半田付けの場合 】 (注3) 《 リフロー部 》 MAX 250 ℃ 10 秒以内 230 ℃以上 60 秒以内 《 予熱部 》 150～180 ℃ 90～120秒 リフロー炉に 2 回通し、常温常湿中に 1 時間放置後、試験する。 【 手半田の場合 】 半田ごてで 290 ± 10℃、 3 秒の条件にて半田付けを行う。 但し、端子に力を加えないこと。		概観の変形、及び端子などの著しいガタ がないこと。		○	—	
	半田付け性	半田温度 230 ± 5℃、 浸漬時間 3 秒間の半田付けを行う。		半田浸漬面の 95 %以上が 新しい半田で濡れていること。		○	—	
備考								
(注1) 通電時の温度上昇を含みます。								
(注2) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。								
(注3) 上記温度プロフィールは防湿梱包開封後168時間以内に適用。 防湿梱包開封後から168時間以上経過している場合は下記温度プロフィール条件を適用。 《リフロー部》 MAX 240℃、10秒以内 、230℃、60秒以内 《予熱部》 150～180℃、90～120秒								
	△の数	訂正記事		設計		検図		年月日
	1	DIS-H-008540		MI. SAKIMURA		HK. UMEHARA		14. 02. 26
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。						承認	KJ. KATAYOSE	05. 01. 05
						検 図	TY. OMA	05. 01. 05
						担 当	IO. DENPOUYA	05. 01. 05
						製 図	IO. DENPOUYA	05. 01. 05
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目				図番		SLC4-306439-03		
	製 品 規 格 表			製品名		DF11CZ-*DS-2V (52)		
	ヒロセ電機株式会社			製品コード		CL543  1/1		